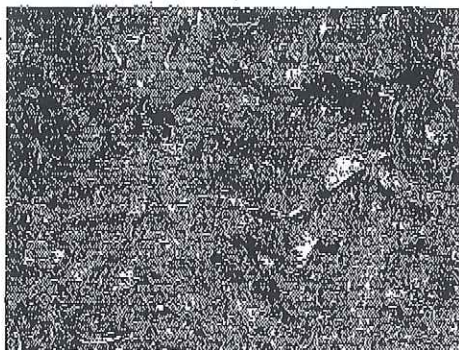


生産実績、着実に伸び

2014年度は115万t見込み

日本RPF工業会調べ

(一社)日本RPF工業会(東京・千代田、加藤信孝会長、☎03・6206・8000)がこの度まとめた調査によると、2014年度における国内のRPF(紙くずや廃プラスチックなどをつくる固形燃料)の生産実績見込みは115万tにのぼることが明らかになった(一部推計)。今後の予測では15年度は126万t、17年度には130万tと着実に増えることを見ている。



生産量、数量ともに増えている
(写真は本文とは関係ありません)

この全国調査は日本RPF工業会が一般社団法人化した12年から実施しているもので、

半年に1回の頻度で生産実績と需要推移をまとめている。生産実績は、正会員(15年2月現在で46社)をはじめとする全国のRPF製造業者に調査の協力を依頼して行っており、実数値と一部推計値を合算したものととなっている。今回は工業会が任意団体だった時代の需要実績の推移とともにあらためてまとめ公表した。

一方、製紙会社などRPFの需要推移については、新型ボイラーの普及とともに04年度以降急激に増え、14年度には162万4000tに達した。今後も大手製紙会社などの新たなボイラー稼働による

増えるものとみている。15年度は167万t、16年度は186万t、17年度は190万t、18年度は200万tになると予測して

能力や生産量の推移、

廃プラ。容リ。古紙。事業系

現在国内には2000カ所以上のRPF製造施設があるとされている。各社によって生産するものと考えられている。

品質は異なるのが実情だが、全体としては旺盛な需要に支えられ、生産、需要ともに伸びるものと考えられている。

生前・遺品整理コーディネーター

(一社)遺品整理業協会
通信教育で養成講座を開始

(一社)遺品整理業協会(事務局・熊本市、☎096・245・7471)は、生前整理・遺品整理コーディネーター養成講座の受講者の募集を開始した。講座の募集を開始した。遺品整理だけでなく、近年ニーズが高まる生前整理についての知識も学べる点が特徴。通

信教育で受講後、試験に合格すると写真付きの「受講資格証」を生前と遺品で、それぞれ交付する。今後、全国で幅広い業種への普及

を見込み、月間1000人の受講を目指す。

同養成講座では、受講生に「生前整理」と「遺品整理」の業務に必要な基本知識を掲載。廃棄物処理法上の許認可や各業者依頼時の注意点の他、開業からの具体的な流れ、遺品供養などの付帯するサービスといった実務を行うための注意点等も網羅している。

資料編では、「生前整理ノート」の作成や遺品整理業務にお

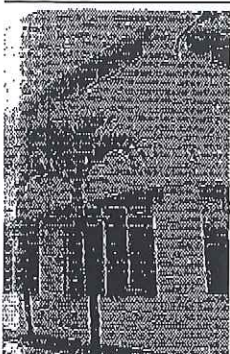
ける法規制、統計などを掲載。受講者は、テキストと合わせて学習した後、問題編での設問に回答し、レポートを協会に送付で提出する。採点で70点以上を取ると合格となり、受講者の写真付き認定証が発行される仕組みだ。不合格の場合も、

難民への衣料支援

ファーストリ
「全商品リ

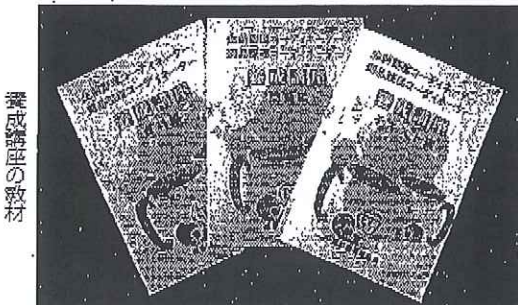
ファーストリテイリングは2月18日、グループ衣料ブランドの「ユニクロ」と「ジーユー」の商品を対象に実施する「全商品リサイクル活動の一環で、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)と連携して途上国の難民に寄贈した古着が1000万着を超える見込みとなったことを発表

日本グリーンパックス
アジアで再生品販売へ
今夏までに新会社



ベトナムの工場

製品を安定的に供給する体制を整備されたことから、独自の販売するための



養成講座の教材